

# H23情報通信白書

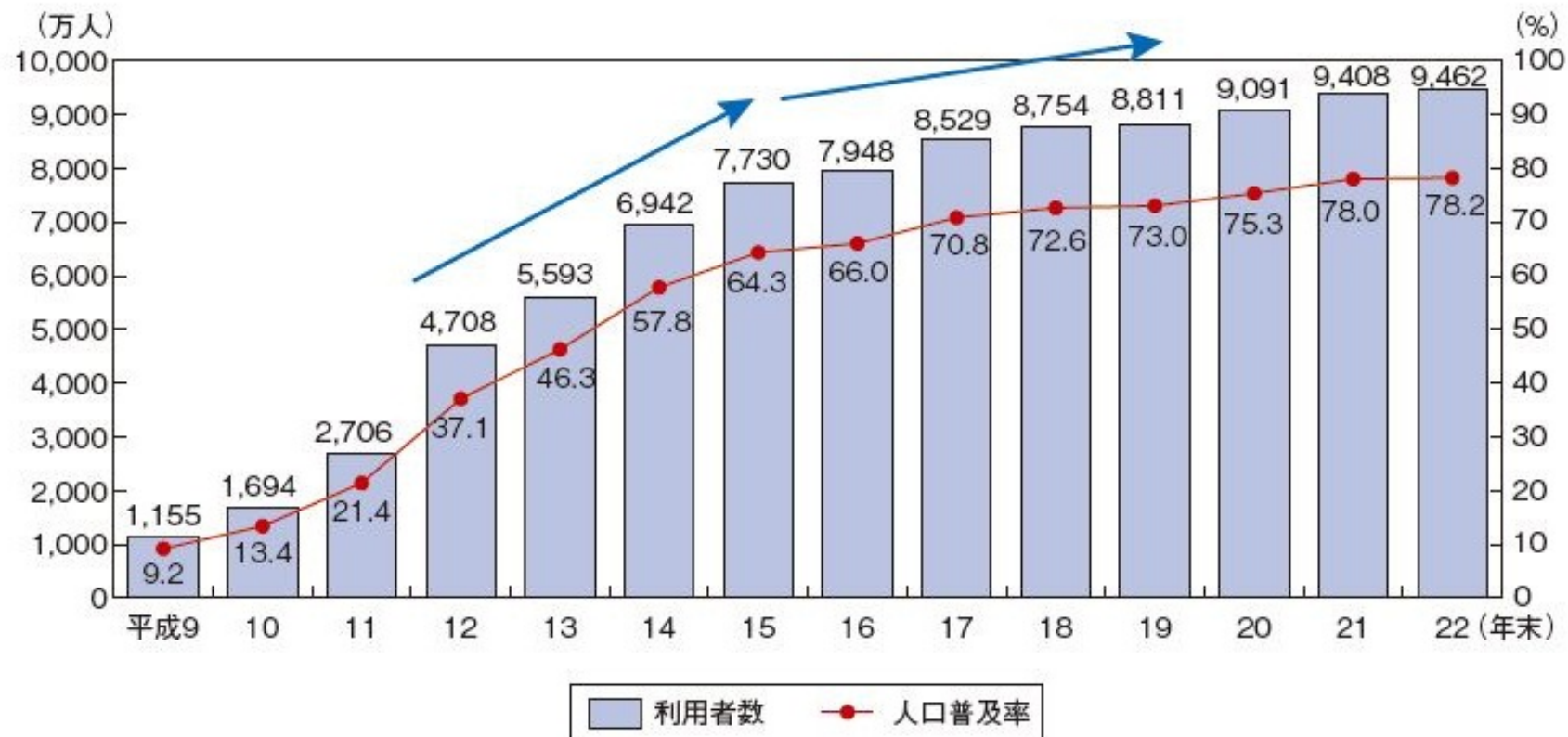
---

- 我が国のインターネット利用率は78.2%。デジタル・ディバイドは、高齢者及び低所得者を中心に存在。
- オンラインコミュニティへの参加者は、約7割がネットで絆が再生したと回答するなど、社会関係を一定程度補完。
- ネット利活用の課題として、「低廉化」や「使い勝手がよい端末」（高齢層）を求める声も多い。

○利用者は、個人情報漏えい（ブログの場合で86.5%）、プライバシー侵害（同73.4%）等個人情報に不安を感じており、対応が必要。

## 1-2-1-1 インターネットの普及率（全体の契約数）

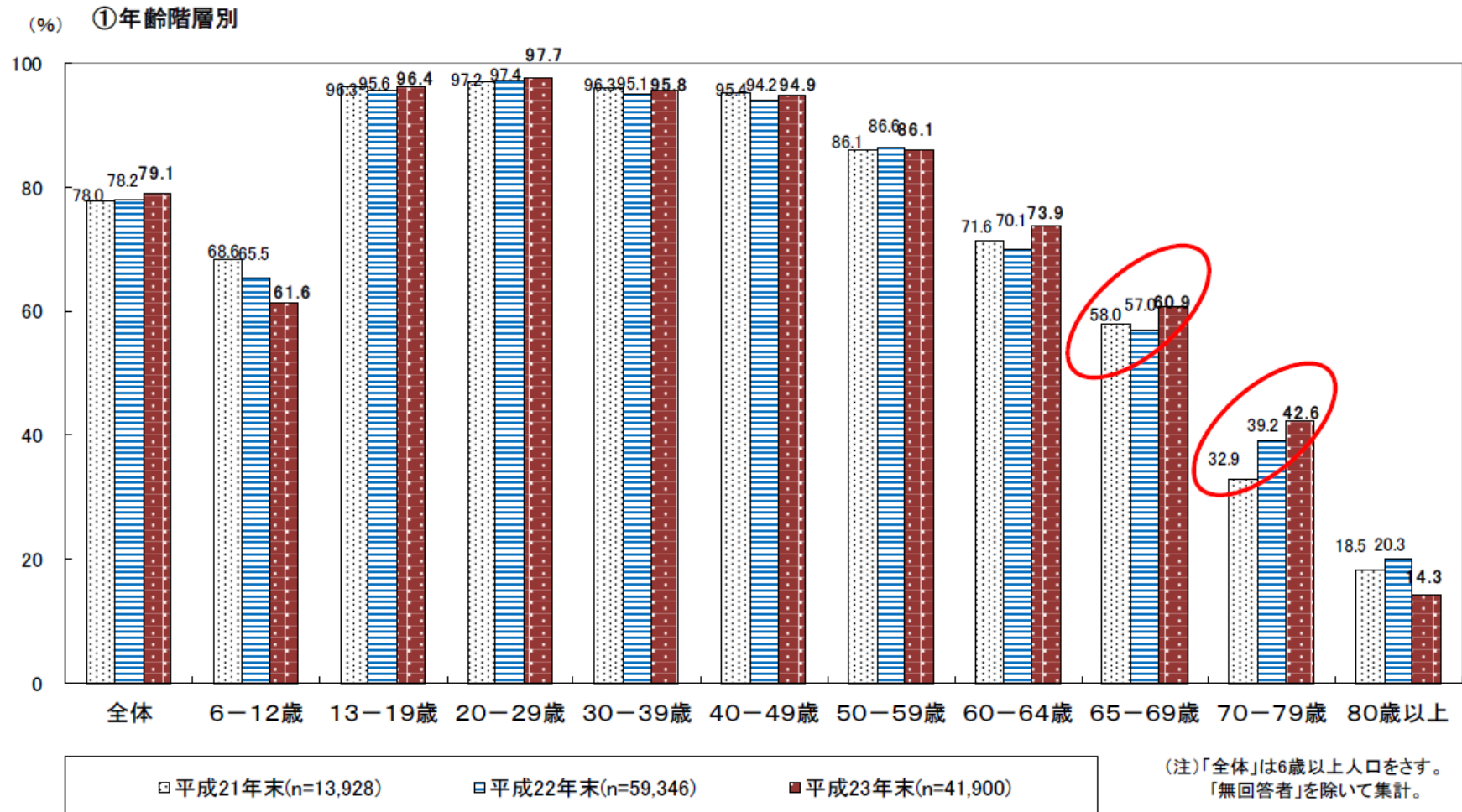
平成15年までは前年比10%以上の伸び。その後、鈍化

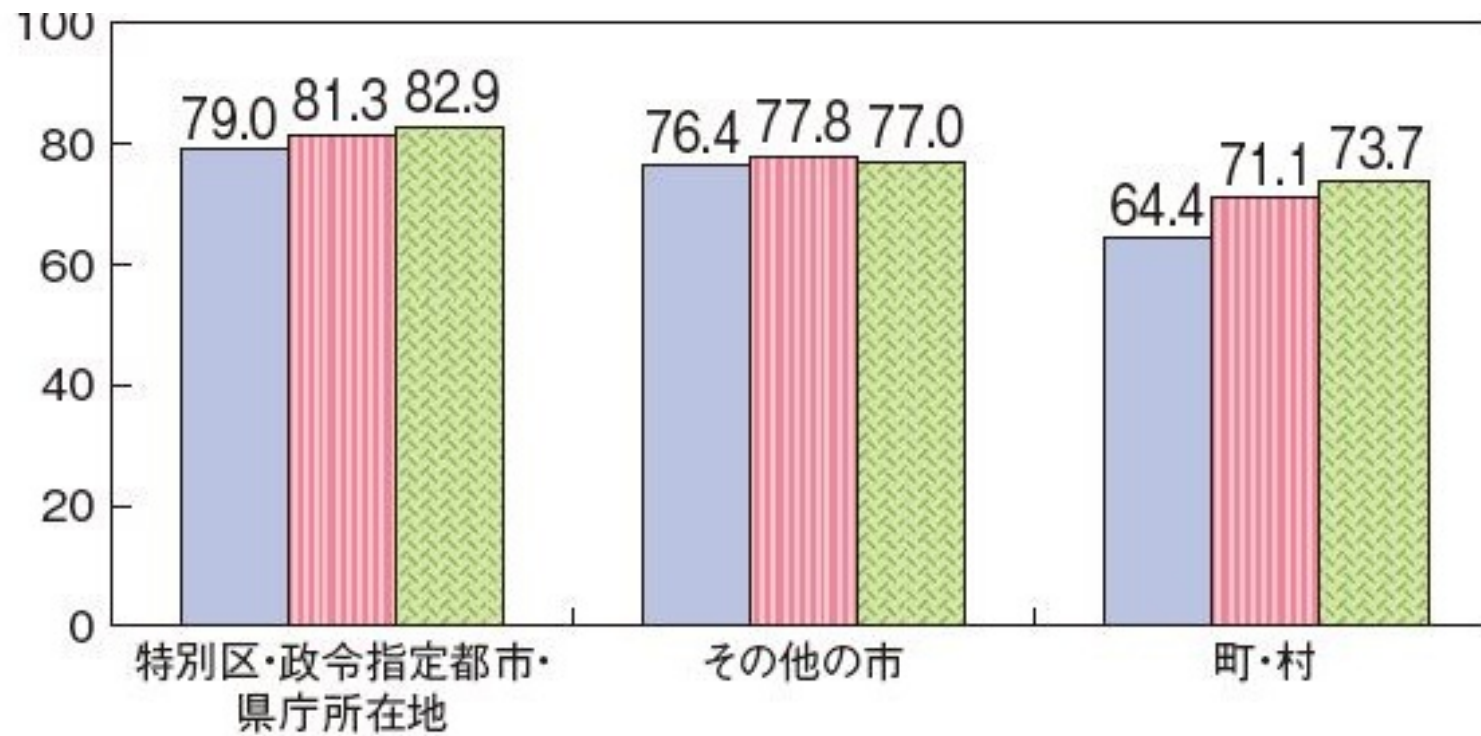


（出典）総務省「ICT インフラの進展が国民のライフスタイルや社会環境等に及ぼした影響と相互関係に関する調査」（平成23年）  
（総務省「通信利用動向調査」により作成）

## 4 インターネット利用の年齢階層別状況 ①インターネット普及率

**60歳以上のインターネット利用は、概ね増加傾向にあるが、水準としては他の世代に比べて低い。  
13歳～49歳までの利用率が9割を超えているのに対し、60歳以上は大きく下落。**

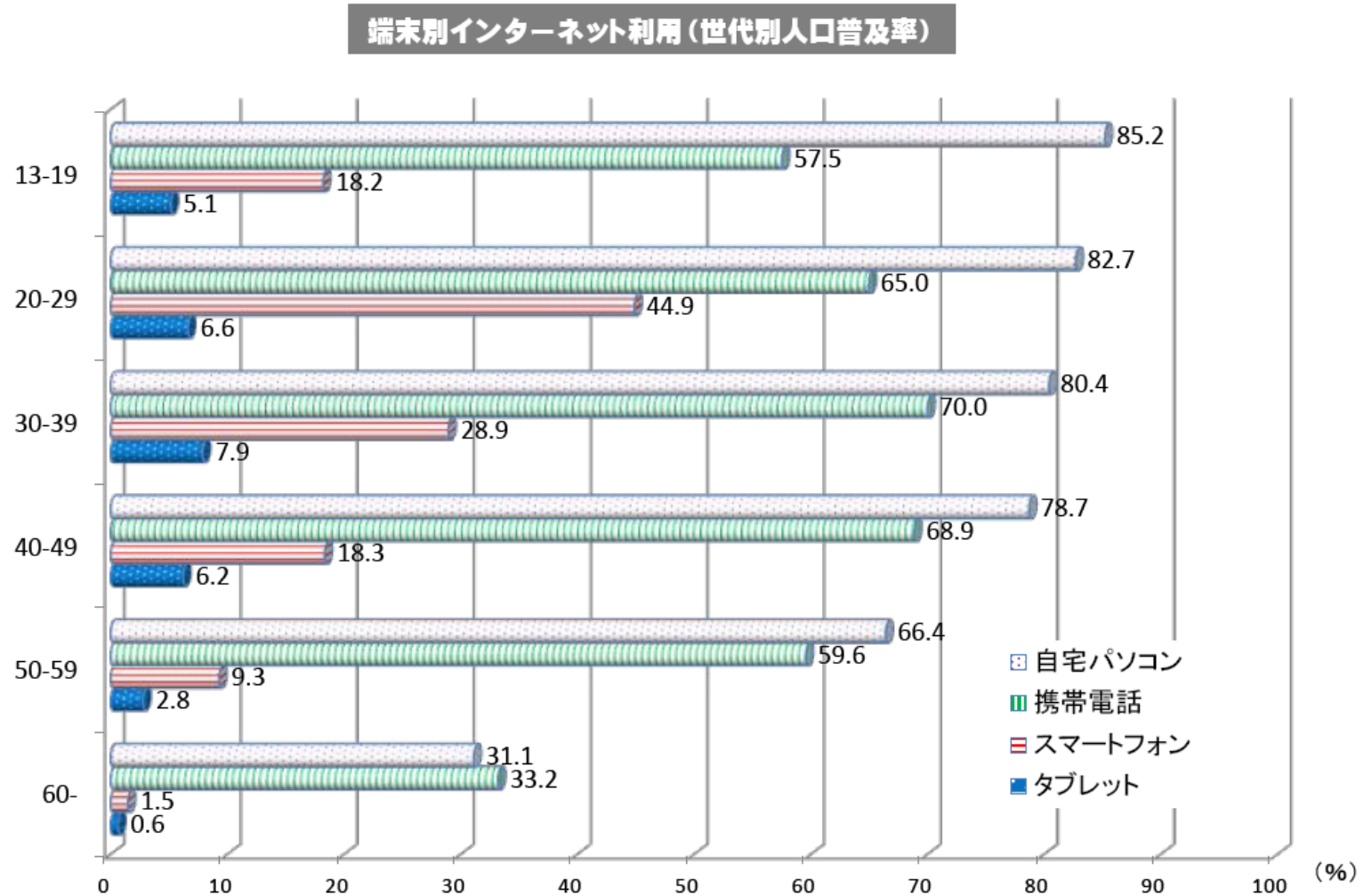




平成20年末(n=12,791)
  平成21年末(n=13,928)
  平成22年末(n=59,346)

## 2 携帯電話ユーザーとスマートフォンユーザーのインターネット利用動向①

携帯電話は幅広い年代でインターネット接続に活用。スマートフォンは世代間格差が大きい。



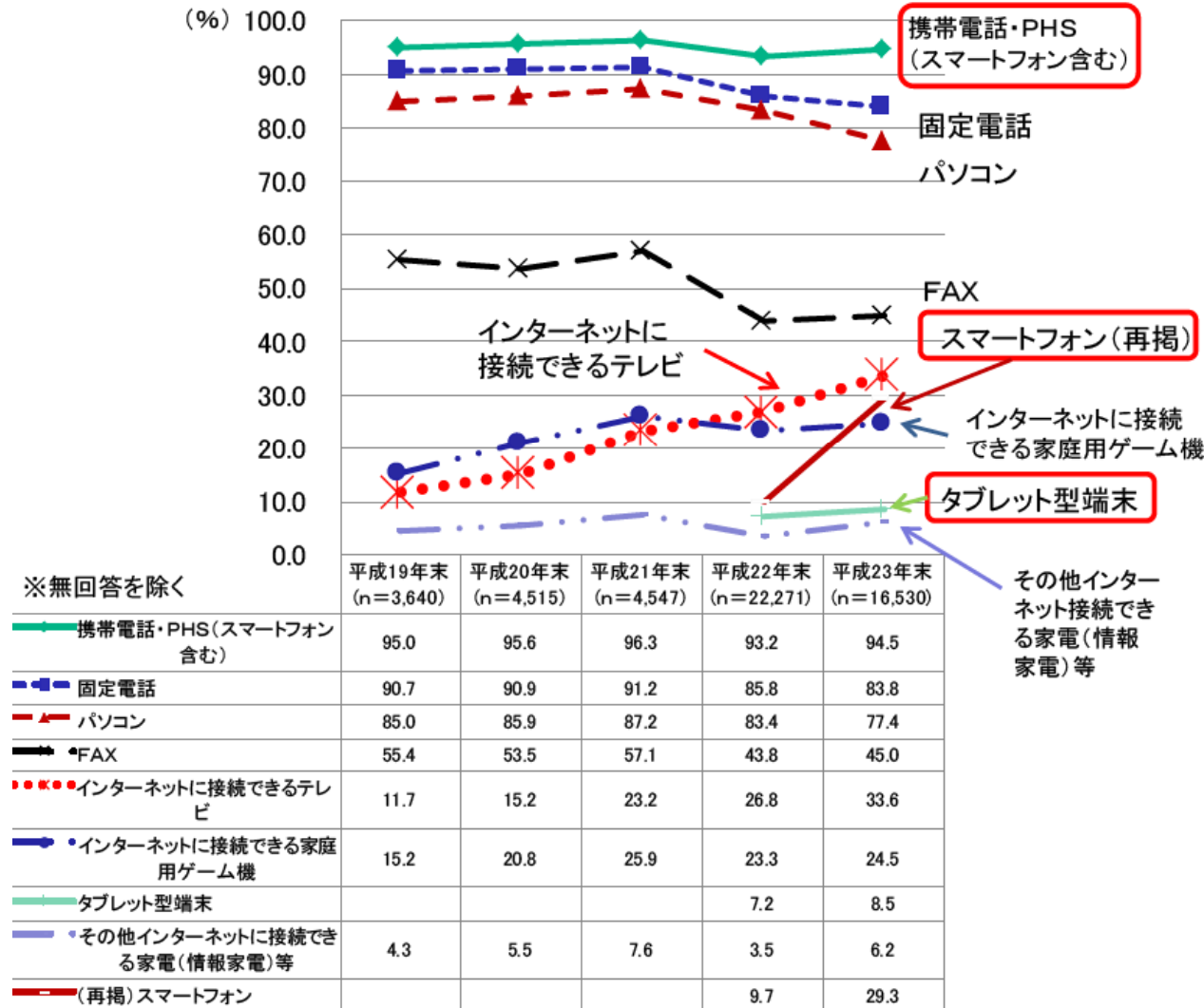
※当該端末を使用して過去1年間にインターネット利用経験がある回答者の比率（無回答を除く）



### 3 主要情報通信機器の世帯保有の状況(世帯)

#### 主要情報通信機器の世帯保有の状況

情報通信機器の普及が全体的に飽和状況の中、スマートフォン保有が顕著な伸び。

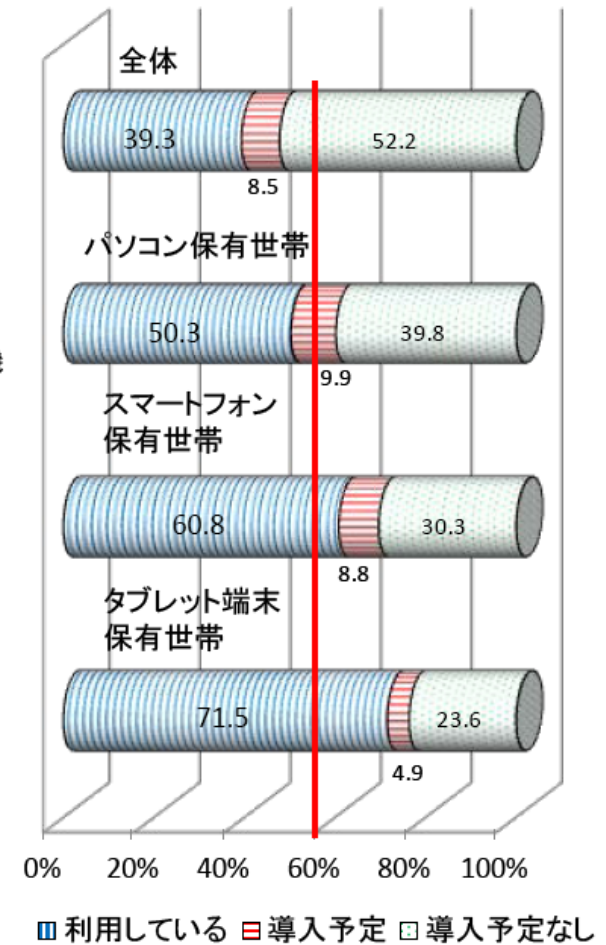


※「携帯電話・PHS(スマートフォン含む)」は、平成22年末以降において、スマートフォンを内数に含む。  
平成23年末のスマートフォンを除いた場合の保有率は89.4%である。

情報通信白書・通信利用動向調査6/9の転載 6/9

#### 保有端末別家庭内無線LANの利用率(世帯)

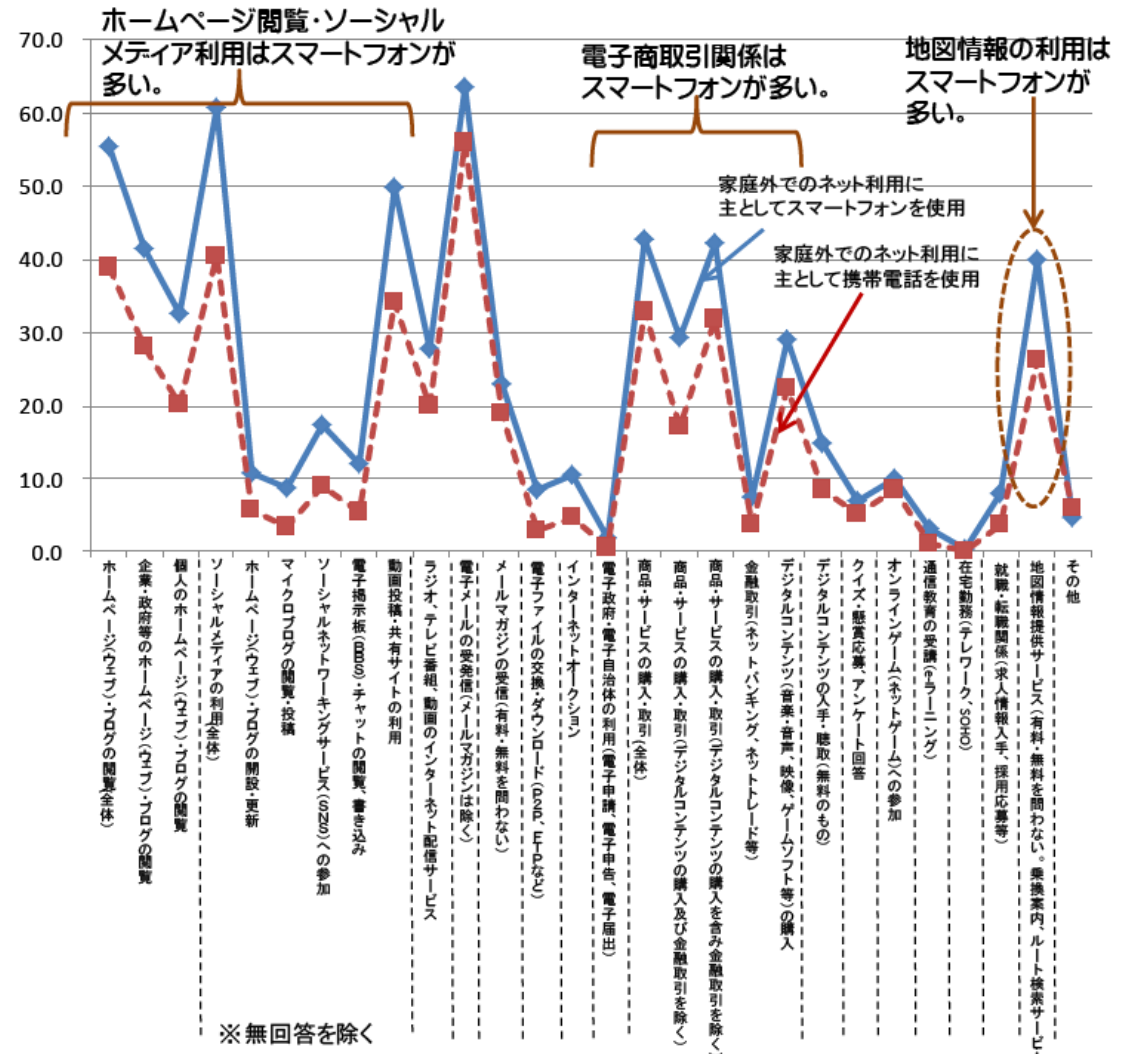
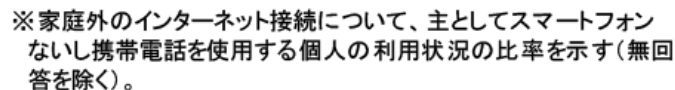
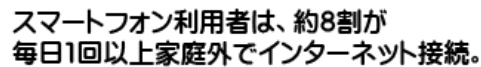
スマートフォン・タブレット端末保有世帯の利用率は6割を超える。



※無回答を除く

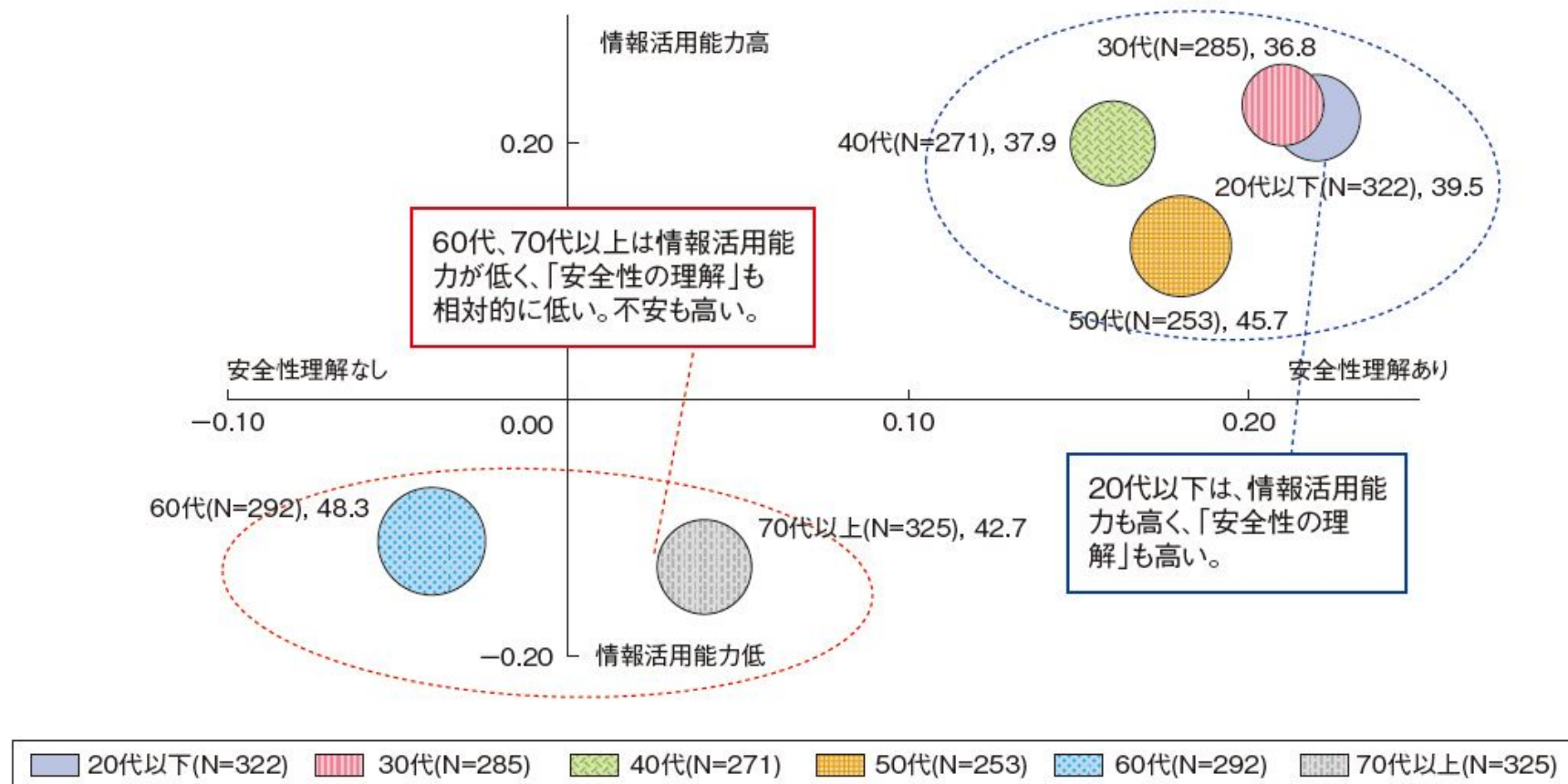
**スマートフォンユーザーの方が、携帯電話ユーザーよりインターネットの各種機能・サービスの利用に積極的**

### 家庭外での目的別利用率



図表 2-1-1-11 属性別の情報活用能力、安全性の理解及び不安感の分析（年代別）

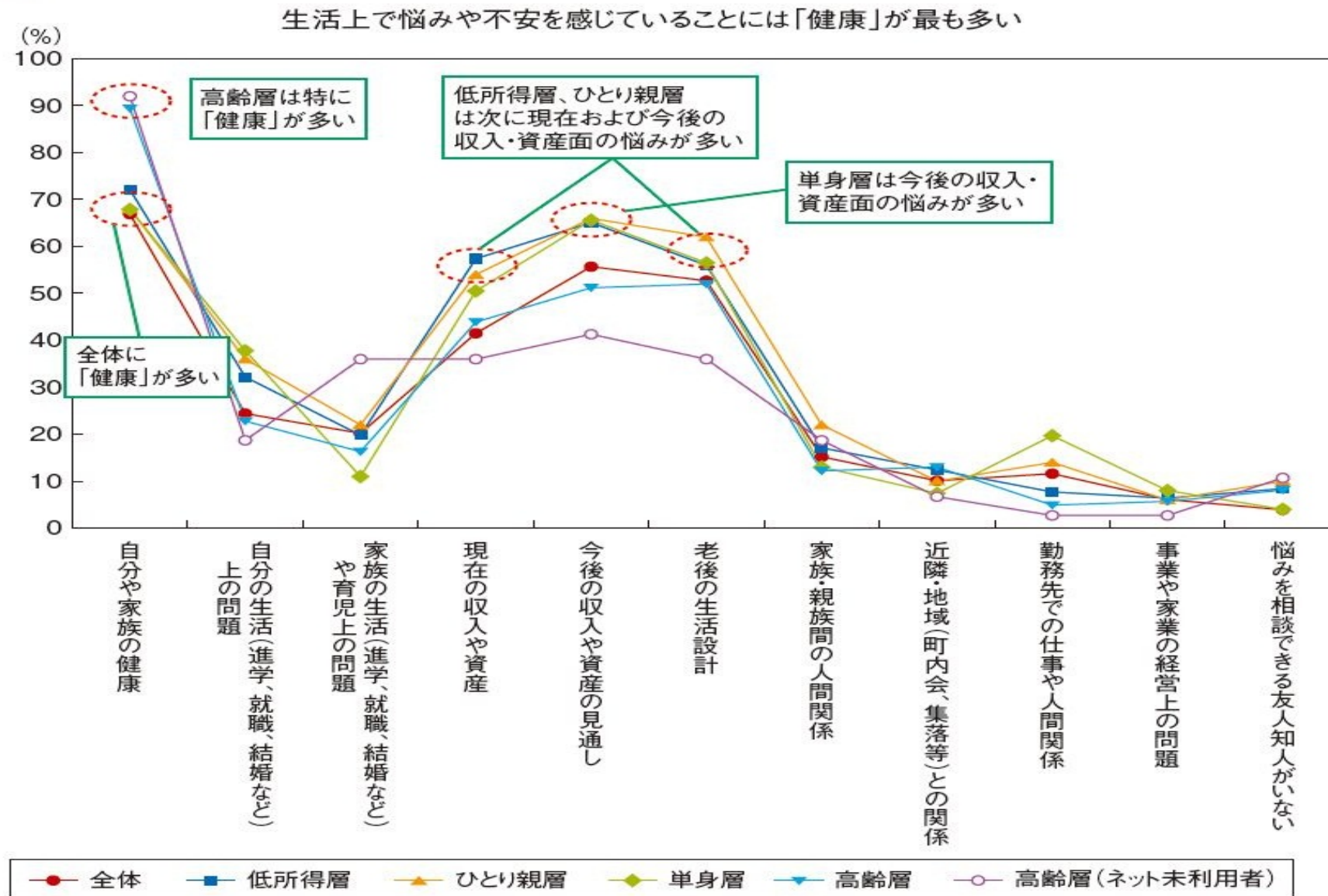
60代、70代以上は情報活用能力、安全性の理解が相対的に低く不安が高い



(出典) 総務省「ICT 利活用社会における安心・安全等に関する調査」(平成 23 年)



## 5 生活上で悩みや不安を感じていること



(出典) 総務省「ICT 利活用社会における安心・安全等に関する調査」(平